

長期戦略:テーマ 「正課外教育の推進」

提出日2021年 8月 24日

担当部署

Ⅱ.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	富田学生活動支援機構長 (学生活動支援機構)	実施計画の 担当部署	学生活動支援機構
-----------------------	---------------------------	---------------	----------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
1-(8)-② 正課外教育のプログラム化(スポーツ以外)	2022 年度	2024 年度	必要なし	不要

内容

新たな時代に求められている資質のうち、自律的に行動する力など汎用的能力や態度・価値については、正課教育だけでなく、正課以外の大学の多様な活動・環境(課外活動や社会体験、寮生活、異文化交流など)によって涵養されることが研究によって明らかになってきている。学士課程の目的である DP に基づく学修成果の修得に加え、一段高いコンピテンシー(社会で活躍する能力)を付加的に獲得するこうした活動・環境を「正課外教育」として位置付け、大学教育の全体像を正課教育と正課外教育の統合という新しい文脈で捉え直す。

その第一歩として、本大学のスポーツ活動(体育会)と文化・芸術活動(文化総部、新聞総部、宗教総部、総部放送局、応援団総部)について、「学生の自主活動」を尊重しつつ、「大学の責任に基づく教育プログラム」へと発展させ、以下の(1)(2)を実現する。

(1)クラブ活動自体のプログラム化

クラブ活動において、自ら目標を掲げて指導者や仲間とともに努力を重ね、練達する過程において、チームワークやリーダーシップ、問題発見・解決能力等の汎用的能力を獲得する、教育的価値の高いプログラムとして再構築する。

(2)クラブ関連教養プログラムの開設

クラブ活動に関する教養(当該スポーツ・文化の歴史、哲学、社会学、心理学、マネジメント等)、キャリア形成支援、ボランティア・地域貢献、国際交流支援等のプログラムの開設を、既存の教育分野と調整しながら検討する。

上記の項目を推進するにあたり、実施計画 1-(8)-1 で策定したスポーツ活動関連の計画の実績を見ながら、順次、文化系活動、寮生活、ボランティア、さらには多様なサークル活動等の教育プログラムへ発展させる。

進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式
指標1	今後設定	
指標2		
指標3		

目標1<指標1>

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
目標						
実績						

目標2<指標2>

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
目標						
実績						

目標3<指標3>

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
目標						
実績						

2. ロードマップ

		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
体育会以外の 5 総部など、スポーツ統括課管轄外の課外活動団体の統括課設置の検討、立案。	策定段階	—	—	—	検討開始	
	2022 年 3 月末段階	—	—	—	—	
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	—
	策定段階					
	2022 年 3 月末段階					

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】

非公開

経費 単位:万円

2019 年度 承認

2020 年度 承認

2021 年度 承認

2022 年度 承認

2023 年度

2024 年度

左記以降

非公開

人員・人件費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度	2024年度	左記以降
非公開							

4. 進捗状況・得られた成果

2019年度	—
2020年度	—
2021年度	
2022年度	
2023年度	
2024年度	

5. 今後の課題及び方向性

2019年度	—
2020年度	—
2021年度	—
2022年度	
2023年度	
2024年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2018年度	—
2019年度	—
2020年度	—
2021年度	—
2023年度	
2024年度	

7. Total Review の結果

【フェーズⅠ(2019～2021)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズⅡに向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
・スポーツ以外の文化系クラブを正課外教育プログラム化する方策の検討が必要。	継続 ・ 廃止	・同左

【フェーズⅡ(2022～2024)】

レビュー結果	可否	備考 (継続:「フェーズⅡに向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	